



常任委員会

4つの常任委員会で議案を審査しました。

- ・紙面の都合上、質疑等の一部を掲載します。
- ・委員会記録は8月下旬にウェブサイトに掲載予定です。

ID 1022724

総務委員会

財政調整基金積立金について

Q 財政調整基金に1億円の積み立てを計上しているが、今年度はいくら積み立てる計画なのか。

A 中期財政計画では35億円の基金残高確保を目標としているため、財源が捻出できれば、そのつど、積み立てるようにはします。

Q 今年度当初予算では24億円を取り崩しているが、再度の取り崩しはあるのか。

A さりなる取り崩しは想定していませんが、災害対応など緊急を要する場合には取り崩すことも考えられます。

はしご付消防自動車の必要台数について

Q 予算削減のため、市内に2台保有しているはしご付消防自動車を1台にはできないのか。

A 国の消防力の整備指針及び、本市の災害発生状況や高層建築物の設置状況から考えると2台は必要です。



福祉健康委員会

生活保護費の基準見直しについて

Q 生活保護費の基準が平成30年10月に見直しされるとのことだが、受給者に影響が及ぶ範囲はどの程度か。

A 国の試算では7割程度の受給者に影響が出るということです。

Q 見直し後の受給額を事前に周知する予定はあるのか。

A 受給額が変更となる方には保護決定通知書を送付しますが、それより前に保護費の基準に変更がある旨のお知らせを送付することにより周知する予定です。

国民健康保険特別会計事業について

意見 赤字が発生するたびに繰上充用を繰り返す会計処理は、いずれ市民の新たな負担増となる懸念され、問題があると考えられるため、承認できない。

繰上充用とは
予期せぬことなどから、今年度の支出に対して収入が不足する場合に、翌年度の収入でその不足分を補てんすることを言います。



経済教育委員会

学校給食共同調理場整備基本計画策定等業務委託について

Q 先に策定した基本構想に基づき、今回は基本計画の策定などをするための委託を行うとのことだが、委託先はどういったところを検討しているのか。

A 委託先は、同程度の学校給食調理場整備の基本計画策定や、導入可能性調査等の実績があるコンサルタント会社を想定しており、公募のち審査を経て決定する予定です。

Q 新しい共同調理場が稼働するまでにどれほどの期間を要するか。

A 基本構想では、1場目については基本計画策定の4年後、さらに2場目及び3場目を建設する計画を立てるとすれば、その1、2年後に稼働することを想定しています。ただし現実には、インフラ整備など様々な要因により計画の遅れが発生すると思われます。

Q 新しい共同調理場の候補地はどこか。

A 1場目の候補地については、今後策定される整備運営計画の中で公表していきます。



建設水道委員会

福塚線道路改築事業について

Q 福塚線道路の敷地内で昨年度に試し掘りをした結果、土器などが出土したため、新たに埋蔵文化財の発掘調査に3、4か月が必要になるとのことである。この発掘調査を行うことによって、本来の道路改築工事の完了に遅れは出ないのか。

A 発掘調査は今年度中に終了し、試し掘りを行った区間の道路改築工事は平成31年度から着手する予定なので、遅れることはないと考えています。

佐千原浄水場・中央監視設備の更新について

Q 佐千原浄水場の中央監視設備が老朽化したので、民間の資金や経営ノウハウ・技術力の活用も検討しながら、数年かけて更新することであるが、既に実施している第2ポンプ棟建設工事の工程に影響は出ないのか。

A 中央監視設備は、第2ポンプ棟とは別棟の浄水場事務所に設置する予定ですので、第2ポンプ棟建設工事の工程に影響はありません。ちなみに、中央監視設備の運用と第2ポンプ棟の稼働は、ともに平成35年度からの予定です。